

平成23年6月 全国百貨店売上高概況

平成23年7月19日

I. 概況

1. 売上高総額	4,927億円余
2. 前年同月比	0.3% (店舗数調整後/4か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	86社 255店 (平成23年5月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,413,197㎡ (前年同月比:-1.8%)
5. 総従業員数	90,301人 (前年同月比:-5.7%)
6. 3か月移動平均値	11-1月 -1.1%、12-2月 -0.8%、1-3月 -5.4%、 2-4月 -5.8%、3-5月 -6.5%、4-6月 -1.2%

[参考] 平成22年6月の売上高増減率は-6.0% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

今年2月(0.7%)以来、4か月ぶりに前年同月比プラスとなった。

6月は、震災による自粛ムードが一段落して、消費マインドの回復基調が鮮明になる中、高級時計や特選衣料雑貨など一部高額商材に動きが見られた。また、節電意識の高まりと下旬からの記録的な気温上昇を背景に、この時期主力の夏物衣料が堅調であったほか、特に、クールビズや涼感寝具などの暑さ対策に関連した商材が極めて活発に動いたこと、さらには「絆」消費の盛り上がりで、中元の早期受注や父の日商戦も好調に推移したことなどから、最終的には震災後初めて前年実績を上回る結果となった。

具体的な動向としては、大雨で西日本や日本海側の店舗の集客に影響が出たことなどマイナス要素がある一方、プラス要素としては、震災後の復興需要の拡大から仙台(14.1%)を中心に東北全域で大幅な伸びを示したこと、大規模増床や新規出店のあった大阪と福岡では引き続き活況(店舗調整前伸び率:大阪7.2%、福岡14.7%)を維持していること、震災で急減した外国人観光客の売上も徐々に回復の兆しを見せていること、などが報告されている。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 梅雨前線等の影響により北の日本海側と西日本で多雨、九州では中旬に大雨となった。また、全国的に日照時間は少なかった。下旬は太平洋高気圧が強まり東・西日本では晴れて暑い日が多かった。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比+0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 8日(// ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比)

①増加した:42店、②変化なし:40店、③減少した:52店、④不明:40店

(5) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上)

①増加した:30店、②変化なし:45店、③減少した:43店、④不明:56店

(6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見ると傾向値)

①増加する:23店、②変化なし:75店、③減少する:28店、④不明:48店

全国百貨店 売上高速報 2011年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	492,723,518	100.0	0.3 (0.1)
10都市	320,647,971	65.1	0.4 (1.0)
札幌	11,571,539	2.3	-2.3
仙台	6,793,891	1.4	14.1
東京	125,951,596	25.6	0.4 (-0.1)
横浜	29,866,434	6.1	1.0 (0.3)
名古屋	27,178,298	5.5	0.1 (-7.5)
京都	18,347,506	3.7	-0.8 (-3.5)
大阪	62,230,888	12.6	2.1 (7.2)
神戸	13,401,688	2.7	-3.2
広島	11,355,046	2.3	0.4
福岡	13,951,085	2.8	-7.5 (14.7)
10都市以外の地区	172,075,547	34.9	0.2 (-1.7)
北海道	2,817,250	0.6	-5.0
東北	8,599,157	1.7	4.8 (-11.0)
関東	85,688,976	17.4	0.2 (-1.4)
中部	13,130,143	2.7	-4.0
近畿	17,237,645	3.5	2.3
中国	11,934,874	2.4	0.6
四国	8,453,639	1.7	-1.0
九州	24,213,863	4.9	0.4 (-1.1)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	492,723,518	100.0	0.3 (0.1)
紳士服・洋品	36,252,357	7.4	1.2 (1.6)
婦人服・洋品	103,040,442	20.9	-0.8 (-2.4)
子供服・洋品	9,393,888	1.9	0.0 (0.8)
その他衣料品	12,734,913	2.6	-1.4 (-2.4)
衣 料 品	161,421,600	32.8	-0.3 (-1.3)
身のまわり品	59,843,116	12.1	-0.3 (-0.4)
化粧品	26,013,216	5.3	-2.6 (-2.6)
美術・宝飾・貴金属	24,253,511	4.9	2.8 (2.4)
その他雑貨	19,239,929	3.9	-0.2 (0.0)
雑 貨	69,506,656	14.1	-0.1 (-0.2)
家具	6,178,680	1.3	-0.2 (-0.6)
家電	1,687,281	0.3	-5.6 (-5.7)
その他家庭用品	16,621,372	3.4	3.1 (2.5)
家 庭 用 品	24,487,333	5.0	1.6 (1.1)
生鮮食品	32,460,818	6.6	0.7 (0.6)
菓子	35,416,532	7.2	2.5 (3.9)
惣菜	28,230,670	5.7	1.8 (2.5)
その他食料品	51,506,162	10.5	0.2 (0.0)
食 料 品	147,614,182	30.0	1.1 (1.5)
食堂 喫茶	14,176,927	2.9	2.9 (5.6)
サ ー ビ ス	5,119,346	1.0	-2.6 (-4.2)
そ の 他	10,554,358	2.1	0.1 (-1.5)
商 品 券	23,867,801	4.8	-10.3 (-10.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	0.4% (店舗数調整後／4か月ぶりプラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	0.2% (" / 4か月ぶりプラス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	0.4	0.2	4か月ぶりプラス
札幌	-2.3	-0.1	2か月連続マイナス
仙台	14.1	0.2	2か月連続プラス
東京	0.4	0.1	4か月ぶりプラス
横浜	1.0	0.1	3か月連続プラス
名古屋	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
京都	-0.8	0.0	4か月連続マイナス
大阪	2.1	0.3	3か月連続プラス
神戸	-3.2	-0.1	2か月連続マイナス
広島	0.4	0.0	40か月ぶりプラス
福岡	-7.5	-0.2	35か月連続マイナス
10都市以外の地区	0.2	0.1	4か月ぶりプラス
北海道	-5.0	0.0	8か月連続マイナス*
東北	4.8	0.1	3か月連続プラス*
関東	0.2	0.0	4か月ぶりプラス
中部	-4.0	-0.1	4か月連続マイナス
近畿	2.3	0.1	3か月連続プラス
中国	0.6	0.0	4か月ぶりプラス*
四国	-1.0	0.0	48か月連続マイナス
九州	0.4	0.0	46か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、食料品が2か月連続、家庭用品が4か月ぶりのプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨で、いずれも微減となった。また、菓子が2か月ぶり、その他家庭用品が4か月ぶり、紳士服・洋品、生鮮食品が8か月ぶり、美術・宝飾・貴金属が52か月ぶりのプラス、惣菜とその他食料品が2か月連続のプラスとなり、子供服・洋品も前年並みとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.3	—	4か月ぶりプラス
紳士服・洋品	1.2	0.1	8か月ぶりプラス
婦人服・洋品	-0.8	-0.2	4か月連続マイナス
子供服・洋品	0.0	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	-1.4	0.0	40か月連続マイナス
衣料品	-0.3	-0.1	4か月連続マイナス
身のまわり品	-0.3	0.0	4か月連続マイナス
化粧品	-2.6	-0.1	4か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	2.8	0.1	52か月ぶりプラス*
その他雑貨	-0.2	0.0	43か月連続マイナス*
雑貨	-0.1	0.0	40か月連続マイナス
家具	-0.2	0.0	43か月連続マイナス
家電	-5.6	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	3.1	0.1	4か月ぶりプラス
家庭用品	1.6	0.1	4か月ぶりプラス
生鮮食品	0.7	0.0	8か月ぶりプラス*
菓子	2.5	0.2	2か月ぶりプラス*
惣菜	1.8	0.1	2か月連続プラス*
その他食料品	0.2	0.0	2か月連続プラス*
食料品	1.1	0.3	2か月連続プラス
食堂喫茶	2.9	0.1	8か月ぶりプラス
サービス	-2.6	0.0	7か月連続マイナス
その他	0.1	0.0	3か月ぶりプラス
商品券	-10.3	-0.6	4か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>